

## 平成30年度愛知県美術館専門委員会議事録

### 1 日 時

平成30年7月25日(水) 午後1時30分から午後3時10分まで

### 2 場 所

愛知芸術文化センター12階 アートスペースA

### 3 議 事

#### (1) 開会

#### (2) 美術館館長あいさつ

#### (3) 議事

「29年度活動状況及び30年度活動計画」について事務局から説明。

美術課に関わる事業についての説明：深山美術課長

企画業務課に関わる事業についての説明：拝戸企画業務課長

委員	:	収蔵庫では具体的にどのような改修工事が行われているのか。
事務局	:	天井の照明についてすべてLED化をしている。空調のダクト清掃も行っている。
委員	:	4月の全面リニューアルオープンに際して新しく付け加わることや、新たに始められる事業などはあるか。
事務局	:	今回の改修工事は、25年間使ってきて悪くなったところを元に戻すというのが基本であり、新しく何かを始めるといったものは特にない。
委員	:	<p>平成29年度の大きな企画展やコレクション展の開催は、子どもたちに本物の芸術に触れてもらうとても良い機会だったと思うが、豊かな情操を育み、生涯に渡って美術に親しむことができるよう、年齢に応じた楽しく分かりやすい教育プログラムがより多くあると良い。</p> <p>また、最近の芸術表現には映像が欠かせないものとなっており、新しい可能性を持った映像表現について美術館でも取り上げていると思うが、さらに調査研究を進めていっていただきたい。</p> <p>例えば、プロジェクションマッピングのように今大変注目されている表現方法を美術館で上演できれば、子どもたちにとって、より美術館が親しみやすいものとなると思うので、ご検討いただければと思う。</p>
委員	:	多数の入場者が入った展覧会の毎年度のランキングを見ると、最近では8割が東京の展覧会で占められている。また、愛知県美術館の昨年度の来館者アンケート結果を見ると、どの展覧会も女性が7割を占めている。今後人口構成がどんどん変わっていくことや、外国人労働者が増えていくことなど、予測されるバランスの変化も踏まえると、これからの美術館・博物館は戦略的な運営をすることがより必要になってくると思う。

委員	： 小学校教科書の単元に沿った「アートカードゲーム」が子どもたちから好評で、とても食いつきがいいと実感している。県美術館オリジナルの「アートカードゲーム」を小中学校に配布して活用してもらえれば、もっと美術館への親しみが増すと思う。
委員長	： 小中学校の先生と美術館がディスカッションしながら、子どもたちへの美術普及を新たに展開するような機会はあるのだろうか。
事務局	： 平成9年から、先生方との鑑賞学習交流会として、企画展の展示説明会を実施しており、さらにそれを発展させて先生方に実践例を発表していただく会も行っている。 また、そのような先生方との研究会を発展させた「鑑賞学習ワーキンググループ」を立ち上げて「子ども鑑賞会」なども行っている。 平成23年度から25年度には、文化庁の助成金をいただき、県美術館のコレクションを使った「アートカード」を開発し、その使用法を記したガイドをつけて県内すべての小中学校に配布して、それについての説明会も各地で行った。 しかし、必ずしも広く実践していただけているとは限らない現状もあるので、今後より周知に努めていきたい。
委員	： 美術大学で彫刻・絵画といったジャンルの志願者が減り、マンガ学科や映像学科が多くの人を集めていることや、マンガやアニメの展覧会によく人が入る現状を見ると、メディアに対する関心に変化してきていると感じる。 展覧会場での説明なども今はパネルばかりだが、たとえば映像を使って説明するぐらいの方が興味を持ってもらいやすいのではと思う。予算的なことや著作権の問題はあるが、スマホでの作品撮影が広がっていることなども含め、社会的な変化を取り入れていかないと様々な問題が解決していかないと感ずる。
委員長	： 美術館の観覧者は年配の女性が圧倒的に多いのが現状だが、将来の美術ファンをいかにして作っていくかということを考えて行かなければならない。 先ほど教育普及の話があったが、送り手が良いと信じて提供しているものを受け手の側が本当に楽しんでいるのか、という問題は非常に大きなテーマであり、私たち美術界全体がそれを再考し、現場の意見に耳を傾けていかなければならないと思う。
委員	： 現代美術を紹介する「APMoA Project, ARCH」は、寄附によってやってきたということだが、今後はどうなるのか。
事務局	： もともとはコレクション展の中で年1回やっていたものだが、寄附をいただいたことで企画展ごとに開催する形になった。寄附が終了したので、今後は何人かの現代作家を集めて企画展としてやるような方向になっていく可能性がある。
委員	： 現代作家の紹介は大変重要な活動なので、何らかの形で続けていただくことを期待する。
委員長	： 質疑はここまでということにし、これをもって、平成30年度愛知県美術館専門委員会を終了させていただきます。 本日の討議結果につきましては、8月10日の愛知芸術文化センター運営会議で報告させていただきます。どうもありがとうございました。